

飯山市教育懇談会（東小学校区）発言要旨

平成25年7月9日（火）東小学校

- ・（学校運営協議会としては）地域と一体となり、学社融合の教育を進めたい。難しいことをするのでなく、時間と年数をかけ地道な活動が教育。挨拶を徹底してやりたい。子ども達が「日本一明るい東小学校を作っていこう」と掲げた。地域はこれをバックアップしたい。挨拶運動は地域を明るくし、明るい学校づくりにも協力できる。挨拶で地域を明るくしよう、挨拶から教育環境を整えようという考えで取組んでいる。
- ・宿題は高学年になると親が教えるのは難しい。I ネットを活用して小学校から中学校までの授業の（補習等の）放送が出来ないか。
- ・学校トイレの臭い匂いを解消してほしい。
旧犬飼小学校にある二宮金次郎像を東小学校の適当な場所へ移して欲しい。
学校の先生方はこんなに環境の良い学校は他にないと言っている。
飯山の高校の教育レベルが低く、一流大学へ行けない状況だと聞いている。
- ・統合に関しては、城北中学校区を一つの小学校にまとめる位の大きな計画も考え、早い段階で検討してほしい。瑞穂は素晴らしい教育環境なので、統合の話が出た時は、統合小学校を是非瑞穂にお願いしたい。
今の子供達は自分をアピールするものがない。勉強も大事だが部活動、ボランティア活動なんでも良い、学生時代に一生懸命やったことがある子どもが増えてほしい。
- ・私は普段家族と挨拶をしていないのが現状。今の子供達は挨拶をしてくれる。最初のコミュニケーションである挨拶をこれから大事にしていきたい。
- ・下校時の子ども達からの「こんにちは」の挨拶があった。一言で心が温まる。大人が挨拶できないのは恥ずかしい。
- ・「日本一明るい挨拶ができる東小」にとあったが素晴らしい子どもの発想だ。中学生には相手意識を持とうと伝えている。地道に挨拶を続けること、相手意識を持つことが大切だと日頃思っている。
- ・挨拶は、同じ趣味を持つ者が自然に出てくる言葉。スポーツで先輩や仲間への挨拶が必要。挨拶しろと言うのではなく、スポーツや趣味の中でも広げてもらいたい。

- ・飯山市は冬季スポーツに力を入れていて、恵まれているが、競技人口が減っていて残念。保護者は挨拶ができていない。社会では挨拶は大事だと実感する。挨拶と箸の持ち方は家で、勉強は学校が基本だと思う。
- ・菜の花すくーの活動からたまたま進路の話をした。子ども達は自分の目標を見つけ、外へ出て一旗揚げるとはではなく、地域へ戻り地域を盛り立てたいという思いを聞いた。この地域の子供達は自分の将来をしっかりと持っている。挨拶で地域と子ども達が繋がっている。市にも「この地域のこの環境で小学校教育を」「この地域のこの環境では中学校教育」というビジョンを持つてほしい。
- ・子ども達のことを考えた統合を考えるべき。規模が大きすぎても、小さすぎても子どもの成長に弊害があると思う。子ども達の心を考え、大きな視野を持って統合を検討して欲しい。
- ・同じ地区でも学校が違っていると、地区での行事で子ども達は馴染めていないようだ。昔交流があった地区も行政が変わると交流がなくなる。このような地域の交流のことも考えて統廃合を考えて欲しい。
- ・市全体が小規模校なので、小規模での教育指導をどうしたらよいのか考えて欲しい。適正規模であればすべてが良いかといえばそうでもない。少子化の原因は社会教育にもある。先人が教えてくれた考え方を私達引継ぎ、次の世代に伝えていく。人生の流れの中で次の世代に伝える教育が大事。子どもを減らさぬようにできると思う。挨拶で素晴らしい明るい瑞穂を作り、みんなが東小学校へ集まってくる教育環境を整えたい。
- ・「自分に誇りを持てる子ども」の言葉が一番心に残った。
日本は地域がとても大事、基本は家庭だと思う。子どもが「自分に誇りを持てる何か」を一番に考え学校教育をして欲しい。中高校生も含めて子どもの声を聞くなど、統合等は知恵を出して工夫が必要。大勢の色々な意見を聞いて統合を進めて欲しい。

教育委員会：

学校だけで子どもを育てる時代は終わり、地域・保護者・学校が積極的に子どもを育てる時代となりました。人数が減ったからすぐ統合だとは考えていません。コミュニティースクールを導入し、地域として保護者として、色々な手立てがあると思っています。皆さんの力・知恵をお借りしながらやっていきたいと思っております。できるだけ良い条件で、良い環境で良い教育を受けさせると同時に、子ども達にはしっかりと学んでもらいたいと願っています。今日のご意見、お聞きしたことをこれから活かしていきたいと思っております。